

平成29年度 第1回 教育課程編成委員会議事録

日 時 平成29年5月25日(木) 15:00～16:20

場 所 学校法人 北海道学院 釧路専門学校 5階 第5講義室

出席委員 小野 信一 (釧路市東部南地域包括支援センター センター長)
工藤 映美 (釧路市私立幼稚園連合会 理事・認定こども園よしの 副園長)
諫山 邦子 (北海道教育大学釧路校 教育学部 准教授)
伊東 義光 (日本介護福祉士会北海道支部根釧地区支部 支部長
道東勤医協 ヘルパーステーションすこやか 所長)

出席職員 種市 司 (釧路専門学校 校長)
氏原 陽子 (釧路専門学校 こども環境科学科長)
渡邊 千華子 (釧路専門学校 介護環境科学科長)
田仲 京子 (釧路専門学校 こども環境科教員)
杉村 典史 (釧路専門学校 教務主任)
若生 みゆき (釧路専門学校 事務主任)

欠席者 洒井 恵 (釧路市私立保育園連合会 副会長・釧路あさひ認定こども園 園長)
阿部 みつゑ (釧路専門学校 副校長)

配付資料 ○議案書(委員名簿・次第)
○資料1(経過報告等)
○平成28年度 第2回 教育課程編成委員会・学校関係者評価委員会議事録
○平成29年度 学校運営方針
○平成29年度 教育課程

開会宣言(杉村)

- 次第
- 挨拶(種市)
 - 今年度の委員と学校職員の紹介
 - 前回議事録の確認(若生)
資料 平成28年度 第2回 教育課程編成委員会・学校関係者評価委員会議事録 参照
 - 経過報告について(種市)
資料1 参照
 - 今年度の教育課程について(資料 平成29年度 教育課程 参照)
(1) 報告
 - ①運営方針(種市)
 - ・運営方針について報告と確認
 - ・本校の特徴(道内唯一の幼稚園教諭養成校)
 - ②こども環境科 報告(氏原)
 - ・「保育基礎演習」で姉妹園の見学を行う
 - ・「ムーブメント教育・療育と実践」は、気になるこどもの支援につながる
 - ・連携企業とのかかわりについて(資料 平成29年度 教育課程 こども環境科3ページ参照)

③介護環境科 報告（渡邊）

- ・「アクティビティ・ケア（1年次より履修）」「芸道（2年次履修）」は本校の独自科目
- ・「国家試験対策」を新設。1月末の国家試験では全員合格を目標とする

（2）報告に対する質疑応答

小野委員から質問

道内で文科省の認定を受けている幼稚園教諭養成校が1校とは知らなかった。他がやらない理由は？

学校側から回答（校長）

教育大学と同等の基準を求められる。幼児教育に関わる論文も必要な為、認定される事が難しいのではないかと。他校よりも本校の方が学生の負担が軽いと考える。

小野委員から意見

教員の質・レベルの高さ等をもっとアピールして欲しい。

諫山委員から意見

アクティビティインストラクター資格が取れるほか、独自の科目が充実しており、学生はいい学びをしていると思う。また、地域の要望等も組み込みながら対応しているところがいいと思う。

学校側から回答（渡邊）

アクティビティインストラクターセミナーは、東京おもちゃ美術館と連携し、北海道で開催しているのは釧路市だけ。さまざまな職種の方に参加して頂いている。

（校長）

スクールバスが使えることも特色。魅力。

諫山委員から質問

運転手はいるのか？

学校側から回答（杉村）

バス使用の予定が入った時に随時来てくれる方がいる。

工藤委員から質問

教育大釧路校の講師が来ているのは以前から？

学校側から回答（校長）

教育大が本校の指導大学でもあるため、協力して頂いている。

工藤委員から質問

講師によって、科目変更がある？

学校側から回答（氏原）

文科省指定科目は必須科目であるが、独自に決められる部分もある。

（田仲）レベルの高い大学等から講師が来てくれており、本校にいながら他大学の授業を受けられる事を、学生にもっと知ってほしい。

（校長）

道内外からも講師が来てくれる。

伊東委員から質問

「専門職大学」初めて聞いた。もしこの学校が専門職大学になった場合、両科そうなるのか？

学校側から回答（校長）

学校教育法 第一章第一条には「専修学校」の記載がない。その為、専修学校は国からの助成を受けていない。設置基準のハードルは低くないが、専門学校の一部はそこに移行していく。

伊東委員から意見

是非それを目ざして欲しい。「学生ひとりひとりの個性に合う実習内容にしたい」という渡邊先生の思いを聞き、そこまで思ってくれる学校はなかなかないと思う。

諫山委員から質問

兄弟姉妹で入学する学生が多いということを聞いた。また、技専（社会人）学生は学習意欲が高く見える。

学校側から回答（渡邊）

親子で入学したケースもある。社会人学生から学ぶ事も多いと新卒生から聞いた。人生の先輩がクラスメイトにいる事は勉強になる。本校へ来て、自分らしくいられるようになった学生もいる。

小野委員より質問

立派な介護福祉士を養成する為の指導が大事なはずなのに、国家試験対策の指導が入ってきた事により先生方にジレンマはないのか？

学校側から回答（渡邊）

専門学校が予備校化してしまう懸念があった。実務を積んで資格を取る人と養成校卒とでは、利用者との向き合い方が違うと感じたと卒業生から聞いた。

小野委員から意見

合格率100%目指してほしい。地域共生社会実現に向けての教育課程も必要になってくるのでは？介護の大きな割合を占めている認知症について、市も力を入れている。スマートフォンで認知症の方を探すシステムや、行方不明高齢者SOSネットワーク実現に向けて動いている。地域と連携を図りながら、校内イベント等に組み込むことが可能ではないか。手伝える事があれば声をかけて欲しい。

伊東委員から意見

他職種連携に関わるものも教育課程に組み込めたらいいと思う。介護は、介護福祉士だけでなく他職種が連携して進めるもの。

学校側から回答（渡邊）

ほとんどの教科に関わりある事だが、あまり力を入れていなかったなので、入れていきたい。

工藤委員から意見

保育現場で、自分の思い通りの仕事ができるようになるのは4年程度かかると思っている。学校では実習後に反省会をもっていると思うが、幼稚園からも参加したい。（実習園側の反省点が把握できる）

学校側から回答（氏原）

ご案内させていただきます。

（校長）

いつでも授業・校内見学等来て頂きたい。

諫山委員から意見

釧教大では、教員採用試験対策を活用（自由参加）して成果が出ている。また、卒業生に「こんな授業をして欲しい」というアンケートを実施している。

学校側から意見（田仲）

学生は色々な人達から思いを寄せてもらって幸せだと思う。心が弱い学生、基礎学力が弱い学生、貧困を抱えている学生は、2年間学習することが難しい。自己肯定感を持って社会に向き合う力をつける事が大切。学ばせるのではなく、ここで学びたいと思ってもらえるような教育をする事が課題。

閉会の挨拶（渡邊）

以上
（記録：若生）